

## 令和2年度岩手県消防協会事業計画

本年度は、東日本大震災から9年を迎えますが、この間においても全国各地で地震、台風、集中豪雨などの自然災害や火災等の様々な災害が頻発するとともに大規模化しており、更に近い将来、大規模地震の発生が危惧されるなど、近年の災害多発状況から、本年度も火災や自然災害等の様々な災害に備えて、消防団体制の強化、地域の総力を結集した地域防災力の充実強化を進めることが必要である。

当協会の事業については、地域防災力の充実強化を図るため、常備消防と消防団等の消防防災関係者のみならず、幅広い地域の方々とともに、防火防災思想の普及啓発をはじめ、地域の安全・安心に大きな役割を果たす消防団員の確保及び消防職・団員の育成強化等の事業を推進するものとする。

なお、防火防災思想の普及啓発にあたっては、岩手県婦人消防連絡協議会及び岩手県幼少年婦人防火委員会に助成等を行い、婦人消防協力隊、婦人防火クラブ及び幼少年消防クラブ等と一体的に普及啓発活動に努めるほか、岩手県防災保安協会と連携を図り、住宅用火災警報器の維持管理等の広報に努めるものとする。

### ○ 公益目的事業1

#### I 防火防災思想の普及啓発事業

##### 1 防火防災思想普及事業

###### (1) チラシ「防火の知識」の作成配布

＜令和2年10月中旬＞

県民の防火防災思想の普及啓発を図るため、「秋季全国火災予防運動」に併せ、令和2年版チラシ「防火の知識」を作成し、市町村並びに関係団体等に配布する。

###### (2) 機関紙「消防岩手」の発行

日本消防協会の補助を受け、機関紙「消防岩手」を年6回発行し、消防団並びに消防本部等に配布する。＜3,550部＞

###### (3) 機関誌「日本消防」の配布

日本消防協会の機関誌「日本消防」を消防団長等の教養資料等に資するために配布する。＜175部＞

###### (4) 住宅用火災警報器の維持管理等の広報

住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上が経過し、交換等の維持管理が重要になることから、岩手県婦人消防連絡協議会、岩手県防災保安協会等と連携を図り、住宅用火災警報器の維持管理等の広報に努める。

###### (5) 岩手県婦人消防連絡協議会による防火思想普及活動助成

県内の婦人消防協力隊及び婦人防火クラブ員による防火思想の普及啓発を図るとともに、組織拡大と育成強化を図るために活動助成金として30万円を交付する。

ア 隊長・会長研修会

＜令和2年4月12日（日）、13日（月）・気仙沼市＞

婦人消防協力隊長、婦人防火クラブ会長等の資質の向上を図ることを目的として開催する研修会に協力する。

イ 婦人消防等指導者研修会（共催事業）

＜令和3年2月7日（日）、8日（月）・花巻市＞

自主防災組織の中核である婦人消防等の民間防火組織の拡充強化及びその資質向上を図ることを目的として、当協会と岩手県婦人消防連絡協議会、岩手県幼少年婦人防火委員会の主催及び日本防火・防災協会の共催により「令和2年度婦人消防等指導者研修会」を開催する。

(6) 岩手県幼少年婦人防火委員会による防火思想普及活動助成

県内の幼少年消防クラブ及び婦人消防協力隊・婦人防火クラブ員による防火思想の普及啓発を図るとともに、組織の拡大と育成強化を図るために活動助成金として20万円を交付する。

ア 定例表彰

9月1日の防災の日に表彰基準に基づき火災予防意識の高揚及び啓発に多大な貢献をされ、他の模範となる優良幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び優良婦人消防協力隊、婦人防火クラブ及び優良幼少年消防クラブ指導者等を表彰する。

イ 火災予防広報事業

幼年、少年消防クラブ員の活動に資するため、火災予防用品を各地区の幼少年防火委員会あてに配布する。

ウ 防火ポスター、防火・防災に関する作文の募集協力

全日本消防人共済会が募集する防火ポスター及び防火・防災に関する作文コンクールの募集に協力する。

(7) 岩手県婦人消防連絡協議会の事務協力

組織の充実強化を図るとともに、相互の連帯協調のもとに全県的な火災予防活動を進めることにより、安全で住みよい郷土づくりに貢献することを目的に結成されている岩手県婦人消防連絡協議会の事務を行う。

(8) 岩手県幼少年婦人防火委員会の事務協力

岩手県内の幼少年消防クラブ及び婦人防火クラブの育成強化を図り、火災予防思想の普及向上に努めるとともに、本県の火災予防の推進に寄与することを目的に結成されている岩手県幼少年婦人防火委員会の

事務を行う。

(9) 岩手県消友会の事務協力

退職消防長、消防団長及び婦人消防協力隊長・婦人防火クラブ会長が、消防人であったことを誇りに持って、会員相互の親睦を図るとともに、岩手の消防発展に寄与することを目的に結成されている岩手県消友会の事務を行う。

2 岩手県消防殉職者慰霊祭事業

(1) 岩手県消防殉職者慰霊祭

＜令和2年9月24日（木）・岩手県公会堂、盛岡城跡公園二ノ丸＞  
消防殉職者及び消防協力者の功績を称え、その遺徳を偲ぶとともに、先人の犠牲をむだにすることなく、防火防災に関する知識の向上に努め、安全な消防活動等による地域防災力の向上を誓う事業として岩手県の後援で、ご遺族、知事、市長会会長、町村会会長等の来賓及び当協会役員、関係者が参列して挙げる。

(2) 岩手県消防殉職者遺族会の事務協力

岩手県内において、消防職・団員として勤務し、殉職した者及び消防協力者のご遺族を会員とする岩手県消防殉職者遺族会の事務を行う。

II 消防功労者の顕彰事業

1 令和2年度岩手県消防協会定例表彰式

＜令和3年3月18日（木）・岩手県民会館＞

消防職・団員が長年の消防防災活動に従事した功績、消防協力団体並びに一般の方々が火災等の災害発生時に消火や人命救助等に協力した功績を顕彰し、災害対応等への消防活動に対する住民の理解醸成及び防火防災意識の向上、消防職・団員の連携の強化と士気の高揚を図り、安全な県土を構築する事業として、岩手県と共催により実施する。

(1) 岩手県消防協会会長表彰

ア 竿頭授（該当団）

イ 「功労章」

ウ 「功績章」

エ 「表彰状」

- ・ 岩手県消防協会役員功労賞（該当者）
- ・ 婦人消防協力隊員・婦人防火クラブ員表彰
- ・ 消防団事務担当功労賞（該当者）

(2) 岩手県消防協会会長感謝状

ア 一般協力団体

イ 内助功労賞

## 2 第62回岩手県民の警察官・消防職団員表彰式

＜令和2年11月19日（木）・盛岡劇場＞

読売新聞及びテレビ岩手主催により、県内の警察官並びに消防職・団員で、火災予防活動、災害警戒や災害活動など功績が顕著であり、また、社会奉仕活動等などにも積極的に参加している消防職・団員の審査及び表彰に協力する。

### Ⅲ 消防団員の確保及び育成強化事業

#### 1 消防団員確保事業

社会経済の変化や少子高齢化等に伴い、消防団員数の減少で地域防災力の低下が懸念されていることから、消防団員の確保を図り安全・安心なまちづくりに寄与する事業として、消防団員募集や消防団活動等についてのPR活動を岩手県消防学校が行う「消防体験まつり」等の開催に併せて行う。

#### 2 災害支援事業

大規模な火災、地震、洪水等が発生した場合に、消防団員が迅速に活動できるように、支援金の交付等の支援活動を行う。

#### 3 消防操法競技会事業

##### (1) 第42回岩手県消防操法競技会

＜令和2年7月19日（日）・岩手県消防学校＞

消防団員のポンプ操法技量の基礎を培い、競技による操作の三原則である安全、確実、迅速の徹底と士気の高揚を図ることを目的として岩手県の後援により開催する。

また、各地区支部に出場助成金を交付する。

ア ポンプ車の部 17チーム

イ 小型ポンプの部 17チーム

##### (2) 第27回全国消防操法大会

＜令和2年10月16日（金）・千葉県市原市＞

第42回岩手県消防操法競技会「ポンプ車の部」で優勝し、日本消防協会が消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的に開催する全国消防操法大会に出場する岩手県代表隊に訓練及び出場助成金を交付する。

#### 4 消防団員の育成強化

##### (1) 令和2年度消防団長等幹部研修会

＜令和3年1月14日（木）・15日（金）・花巻市＞

消防団組織の育成強化、消防団の幹部職員としての資質の向上を図

ることを目的として開催する。

(2) 総合的現地教育訓練指導

消防団等が開催する消防演習、特別点検及び各種訓練・行事等に会長等が出席し、消防関係者を激励する。

(3) 消防救助技術岩手県大会への補助事業

<令和2年6月12日(金)・岩手県消防学校>

岩手県消防長会が消防職員の救助技術の訓練成果を披露するとともに、より高度な救助技術を取得することを目的に開催される「第43回消防救助技術岩手県大会」の運営費の一部として補助金を交付する。

5 日本消防協会が実施する事業等への協力、参加助成

消防殉職者慰霊祭、消防操法大会、消防団員の研修事業等に参加する経費の一部を助成するとともに、参加協力する。

(1) 第39回全国消防殉職者慰霊祭

<令和2年9月17日(木)・ニッショーホール>

(2) 第27回全国消防操法大会

<令和2年10月16日(水)・千葉県市原市>

(3) 第47回消防団幹部特別研修

<令和3年1月12日(火)～15日(金)・日本消防協会>

(4) 第20回消防団幹部候補中央特別研修<日本消防会館>

ア 男性消防団員の部

<令和3年2月3日(水)～5日(金)>

イ 女性消防団員の部

<令和3年2月17日(水)～19日(金)>

(5) 全国消防大会

第73回日本消防協会定例表彰式

<令和3年3月5日(火)・ヤクルトホール(仮事務所)>

(6) 女性消防団員研修事業

<令和2年11月18日(水)～20日(金)・徳島市>

女性消防団員の育成と消防団活性化に資するとともに、地域住民に防火意識の高揚を図ることを目的として開催される「第26回全国女性消防団員活性化徳島大会」に女性消防団員等が参加する。

(7) 消防団員指導員研修事業

<令和2年12月4日(金)・5日(土)・岩手県消防学校>

地域防災の中核としての役割を果たす消防団員の任務の重要性に鑑み、これら消防団幹部としての防災技術の向上を図るために、日本消防協会が都道府県単位に実施する「平成31年度消防団員指導員研修」を岩手県消防学校の幹部教育指揮幹部科分団指揮課程と併せて共催で

実施する。

○ 公益目的事業 2

岩手県立総合防災センターの運営管理受託業務

岩手県の委託を受けて、県民に対する防災・啓発を図ることなどの岩手県立総合防災センターの運営管理等の委託業務を実施する。

○ 収益事業

1 消防団員等福祉共済事業

消防職・団員が死亡又は障害を受けた場合に、その家族の生活を守る等、消防職・団員等の福祉の増進を図るために消防団員福祉共済事業の事務に協力する。

2 婦人消防隊員福祉共済事業

協同互助の精神の下に本制度への加入を推進し、婦人消防隊員、婦人防火クラブ員の活動の活性化と福祉の向上を一層進めることを趣旨とした婦人消防隊員福祉共済事業の事務に協力する。

3 生活協同組合全日本消防人共済会関係（消防団員火災共済事業）

全国の消防職・団員等の福利厚生を図るために、協同互助の精神に基づく共済制度を確立し、組合員の不慮の災害を保障するとともに、その生活の文化的、経済的改善向上を期することを目的とした消防団員火災共済事業の事務に協力する。

4 消防個人年金事業

消防職・団員の老後の生活の安定と福祉の向上に資するための消防個人年金事業の事務に協力する。

5 幹旋事業

日本消防協会が実施している消防団手帳、消防職・団員幹部職章や記念事業等で販売する記念Tシャツ等について、岩手県分の幹旋及び取りまとめの業務等に協力する。

○ その他の事業 1（相互扶助等事業）

岩手県危険物安全協会連合会の事務受託

岩手県危険物安全協会連合会が県内の各地区支部を通じて、危険物の取扱い技術の向上及び施設の改善、危険物に起因する災害の防止に努めることを目的として実施する岩手県危険物安全推進大会をはじめ、危険物事業者や従業員の表彰、危険物取扱者試験準備講習、会報の発行、研修事業等の事務について、その受託事務を行う。

- その他の事業 2（相互扶助等事業）
  - 1 初任消防団員教育訓練事業  
岩手県より委任を受け、初任消防団員の資質の向上と消防体制の強化を図ることを目的として教育訓練を地区支部等单位に実施する。
  - 2 健康福祉増進事業  
日本消防協会から「健康福祉増進事業」として受託し、消防職・団員の健康の保持のための健康器具等を市町村消防団に配布する。
  
- 法人関係
  - 1 会議関係  
本会運営のために諸会議を開催するほか、関連機関の開催する会議に関係者が出席する。
    - (1) 岩手県消防協会各種会議
      - ア 会長・副会長・業務執行理事会議
      - イ 理事会
      - ウ 評議員会
      - エ 監査会
      - オ 評議員選定委員会
      - カ 表彰審査委員会
      - キ 地区支部連絡会議
      - ク 消防長・消防団長・消防担当課長会議
    - (2) 令和 2 年度東北地区消防連絡協議会  
＜令和 2 年 7 月 1 4 日(火)・1 5 日(水)・仙台市＞
    - (3) 令和 2 年度東北地区消防協会事務局会議  
＜令和 3 年 1 月・盛岡市＞
  - 2 協力事務
    - (1) 公益財団法人 日本消防協会関係  
日本消防協会正副会長会議、日本消防協会理事会、日本消防協会評議員会、消防団員確保対策委員会、日本消防会館建設運営委員会
    - (2) 公益財団法人 消防育英会関係  
殉職された消防職・団員の遺児が発生した場合に、消防育英会の奨学生として奨学金が交付されて学業に励めるよう消防育英会の事務に協力する。